

# 山口学芸大学における「知的財産入門」（著作権教育含む）の 授業評価アンケートからの一考察

○木村 真二，陳内 秀樹（山口大学 大学研究推進機構 知的財産センター）

## 1. はじめに

山口学芸大学，山口県立大学，山口大学（以下，本3大学）は，文部科学省の「大学等が地域の中核として機能していくため，地域社会と大学間の連携を通じて既存の教育プログラムを再構築し，地域が真に求める人材を育成する機関に転換することを目的とした事業」<sup>1)</sup>である「地域活性化人材育成事業～SPARC<sup>2)</sup>～」(以下，「本事業」)に，2022年に採択された。本事業における本3大学の共通目標として，SPARC教育プログラムで身に付ける資質・能力を次の6つに設定している<sup>3)</sup>。①物事を俯瞰(メタ)的に捉え思考する力 ②知的財産(以下，「知財」)に関する知識 ③データサイエンスに関する知識・技能 ④地域の特性や特色を理解し，自ら課題を抽出できる力 ⑤課題解決においてDXを実践できる知識・態度 ⑥課題に対して，身につけた知識や技能を活用して解決に向けた企画・立案ができ，他者と協働して解決を図ることができる力。このうち②を，山口大学知的財産センター(以下，「本センター」)が担当している。本センターが，山口大学で全学必修(学部)の知財教育として2013年から開講している「知的財産入門」(以下，「本科目」)を，2024年度から山口学芸大学で開講し，2025年度から山口県立大学で開講することとなっている。

本報告では，山口学芸大学での本科目実施分(2024年前期Q1)についての学生授業評価アンケート結果をもとに，授業理解や学生の満足度などを考察し，今後の授業改善に向けた足がかりとする。

## 2. 調査概要

山口学芸大学での本科目は，山口大学で実施しているものと同様のカリキュラムで，テキスト<sup>4)</sup>も同じものを使用して実施した。カリキュラムは，表1のとおりである。対面型の講義を基本とし，第3回目はオンライン，第4回目はオンデマンドとした。第8回目の試験は，試験時間を山口大学では50分で設定していたところ70分として実施した。履修登録した学生は，教育学部教育学科1年生21名であり，この全員を対象として授業終了後，学生授業評価アンケートを行った。

考察の比較対象として，山口大学で実施した教育学部1年生対象の本科目，2023年後期Q1(131名)，Q4(78名)，2024年前期Q1(119名)の授業評価アンケートの平均値を用いる。

両大学で共通する質問項目について抽出したものを表2，山口学芸大学だけの質問項目を含む授業評価アンケートは表3である。<sup>5)</sup>

表1. 「知的財産入門」カリキュラム

第1回	第1章 知的財産の全体像
第2回	第2章 著作権の基礎知識
第3回	第3章 著作権法に定められた権利
第4回	第4章 著作権法の個別権利制限
第5回	第5章 産業財産権の基礎知識 ー特許制度ー 第6章 知財情報の検索・解析・活用(オンデマンド)
第6回	第7章 デザインの保護
第7回	第8章 商標の基礎知識
第8回	試験

## 3. 結果

表2のとおり，概ね両大学とも同様の傾向が見られたが，「出席率」，「時間外学習」については，山口大学の方が高かった。逆に，「授業理解」，「シラバス達成(目標達成)」，「満足度」については，「そう思う」の割合が，山口学芸大学の方が高かった。

1) 「地域活性化人材育成事業～SPARC～」文部科学省，

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/sparc/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/sparc/index.htm) (accessed 2024.11.6)

2) SPARC : Supereminent Program for Activating Regional Collaboration

3) 山口大学・山口県立大学・山口学芸大学「地域活性化人材育成事業 SPARC 教育プログラム」，  
<https://www.yamaguchi-sparc.jp/about/common-goal/> (accessed 2024.11.6)

4) 山口大学大学研究推進機構知的財産センター，これからの知財入門～変革の時代の普遍的知識～(第4版)，日経BP,2023

5) 山口学芸大学が収集したアンケート結果の内，一部を筆者が抜粋した。

表3は、授業内容（理解、授業工夫、質問・意見）と学生の取組み（目標達成、興味・関心、満足度）の観点別のアンケート結果であり、最下行には、同学科での同一授業形態ものの42科目の平均値を示した。

総じて、他科目の平均値を上回ったが、観点別に見ると最も値が低かった観点は理解度4.3、最も高かったのは満足度4.9である。また、同アンケートの自由記述欄には、「話し合いの機会が多く互いの意見を知ることができた」など、ディスカッションの時間を多く取ったことについて肯定する感想コメントが複数見られた。

これは、山口大学に比べ山口学芸大学では、少人数授業（109人に対して21人）であり、ディスカッションに十分時間を割くことができたことが高い満足度に繋がっている大きな要因であると考えられる。その他、「これからの人生に役立つ」、「全ての資料が（Moodleで）共有され自習する際に大変役立った」などのコメントがあった。

#### 4. 考察

今回、山口学芸大学のアンケート結果のうち、表2の「授業理解」、「シラバス達成（目標達成）」と表3の「満足度」が特に高評価となっていることについて、上述した少人数授業に起因する要因の他、本科目の最後（試験終了後）に、「本科目の目標・ねらい」（シラバス記載）を学生に再確認したことも大きく影響したのではないかと推測する。これは、アンケート自由記述にあった「最後の数分の話が今までのどの講義よりも素晴らしかった」という感想コメントに象徴される。知識を伝達し、記憶させるだけに留まらず、学生同士のディスカッションはもちろん、講義の目標・ねらい（本科目でどう力を身につけて欲しいか、どう学ぶにして欲しいか）を、学生が納得感を持って、腑に落ちるように伝えられたことも、評価に反映されたと考えられる。

試験は、成績が正規分布をとるような難易度で作成している。そのため、半数程度の学生にとっては、難しかった、自分は理解できていなかったという印象が残る。その学生らは知財への苦手意識を持ってしまいかねない。そこで、シラバスで示した目標に立ち返り、「学生が知財の全体像を理解し、初歩的な知財対応能力を形成し、社会活動において知財の価値を実感できるようにすること、すなわち日常生活を知財の視点で見るアンテナ感度を高めることが、本科目の目指すところである」と、自分が科目の目標に到達していること認識させることが、知財アレルギーを生み出さないためにも重要な要素と言えるだろう。

特に、山口学芸大学の場合、本科目以外で知財について学べる機会は少ない<sup>7)</sup>。そのため、本科目で知財について苦手意識を持ってしまうことは、今後の学修や社会に出てからも知財アレルギーを引きずることにも繋がりがかねない。本科目は、2025年度に山口県立大学でもスタートする。知財についての学修機会としては山口学芸大学に近い環境である。本科目について、3大学でどのような共通点や相違がみられるか、引き続き調査し授業改善につなげていきたい。

6) 本センターでは、この知的財産展開科目を受講できる社会人向けの履修証明プログラムも開講している。

7) 山口大学では知財に関する科目として「知的財産展開科目」（16科目/2024年現在）を用意しており、山口大学の学生は本科目以外でも知財に関する講義を受講しやすい環境がある。

表2. 学生授業評価アンケート

	2024年度 (Q1)	2023年度 (Q1,4) 2024年度 (Q1) の平均値
大学	山口学芸大学	山口大学
学部	教育学部	教育学部
履修者数 (人)	21	109
履修者/アンケート提出率	90%	62.0%
出席	90%~	67.0%
	80%~	29.0%
	60%~	0.0%
	40%~	0.0%
	~40%未満	5.0%
時間外学習	3時間以上	10.5%
	2時間程度	26.3%
	1時間程度	42.1%
	30~50分	21.1%
	30分未満	0.0%
授業理解	そう思う	52.6%
	ややそう思う	31.6%
	どちらとも言えない	10.5%
	あまりそう思わない	5.3%
	そう思わない	0.0%
シラバス達成 (目標達成)	そう思う	47.4%
	ややそう思う	31.6%
	どちらとも言えない	21.1%
	あまりそう思わない	0.0%
	そう思わない	0.0%
満足度	そう思う	89.5%
	ややそう思う	10.5%
	どちらとも言えない	0.0%
	あまりそう思わない	0.0%
	そう思わない	0.0%

表3. 山口学芸大学の学生授業アンケート集計結果

回答	授業の内容			学生の取組み		
	理解	授業工夫	質問・意見	目標達成	興味・関心	満足度
そう思う	52.6%	73.7%	68.4%	47.4%	84.2%	89.5%
ややそう思う	31.6%	15.8%	31.6%	31.6%	15.8%	10.5%
どちらとも言えない	10.5%	10.5%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%
あまりそう思わない	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
そう思わない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
この科目の平均 (最大値5)	4.3	4.6	4.7	4.3	4.8	4.9
学部学科別授業形態別の平均 (最大値5)	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3